

平成23年6月1日  
日本生命保険相互会社

平成23年度 こどものためのミュージカル・プレイ

## 第48回「ニッセイ名作劇場」『雪ん子』公演開始

日本生命保険相互会社（社長 筒井義信）は、子どもたちの豊かな情操を育むことを願い、「ニッセイ名作劇場」に協賛しています。

公益財団法人ニッセイ文化振興財団が主催し、劇団四季が制作・出演するこのミュージカル公演は、昭和39年にスタートし、今年度で48回目を迎えます。

今年度の「ニッセイ名作劇場」は、6月2日（木）の東京公演（日生劇場）から開始し、5都市で計105回の公演を行い、約15万5千人の小学校6年生を無料招待します。（別紙1）

今回は、以下の作品を上演します。（別紙2）

○第48回「ニッセイ名作劇場」『雪ん子』 “こころの劇場” 劇団四季ミュージカル



（写真：劇団四季公演より 撮影者：阿部 章仁）

「ニッセイ名作劇場」は昭和39年に、当社創業75周年記念事業の一環として、日生劇場（東京）でスタートした小学生無料招待公演です。

この公演では、開催各地の教育委員会・公共団体のご支援のもと、校外学習の一環として、学校単位で小学校6年生を招待しています。

第1回公演から平成22年度までの実績で、4,658回公演し、延べ75,947校の小学校を招待、累計で730万人を超える子どもたちに、夢と感動をお届けしてきました。（別紙3）

また、当社は「ニッセイ名作劇場」への協賛に加えて、劇団四季が全国展開し、今年度は約39万人の小中学生を無料招待する“こころの劇場”に、公益財団法人ニッセイ文化振興財団とともに、メインスポンサーとして協賛しています。（別紙4）

当社が協賛するミュージカル公演を通じて、子どもたちに夢と感動をお届けする取組は、全国47都道府県全てに拡がっており、平成23年度は、合わせて約55万人の子どもたちを無料招待する予定です。

当社はこうした取組を通じて、子どもたちの豊かな情操を育むとともに、日本の舞台芸術の振興に、微力ながらもお役に立ちたいと願っています。

○「ニッセイ名作劇場」は、内容・規模ともに日本を代表する児童演劇公演として、第5回（昭和43年）、第8回（昭和46年）、第13回（昭和51年）に、厚生大臣（当時）より、「児童福祉文化賞」を受賞しました。

また、文部大臣（当時）から、3回にわたって感謝状を受けています。

○平成5年には、社団法人企業メセナ協議会より、芸術文化振興に貢献した活動に対して贈られる「メセナ賞」を受賞、平成19年には、当社と財団法人ニッセイ文化振興財団が、「ニッセイ名作劇場」を含む、舞台芸術を支援する総合的な芸術・文化の普及活動に対して、「バックステージ支援賞」を受賞しました。

以上

## 第48回「ニッセイ名作劇場」概要(予定)

主催:公益財団法人ニッセイ文化振興財団

協賛:日本生命保険相互会社

制作・出演:劇団四季

	東 京	大 阪	横 浜	神 戸	名 古 屋
共 催	財団法人都民劇場	大阪府 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 堺市教育委員会	横浜市立小学校長会	財団法人神戸市民 文化振興財団  神戸文化ホール	名古屋市教育委員会
後 援	東京都	財団法人大阪府 青少年活動財団	横浜市教育委員会	神戸市  神戸市教育委員会	—
期 日	6/2~7/12	9/26~9/30  11/7~11/11	10/4~10/7	11/15~11/18	11/24~12/2
公演回数	57回	20回	7回	8回	13回
招待児童数	約73,000人	約37,000人	約15,000人	約16,000人	約14,000人
公演会場	日生劇場	梅田芸術劇場	神奈川県民ホール	神戸文化ホール	中京大学文化市民会館

こどものためのミュージカル・プレイ

## 第48回「ニッセイ名作劇場」

“こころの劇場” 劇団四季ミュージカル

# 『雪ん子』

舞台は江戸の町。天上に住む12歳のゆきは、両親である雪の王と妃に、スリをして働く子どもたちに、春までにスリをやめさせるという使命を与えられました。ゆきは、地上の汚れを清めて、美しい春をもたらすために、江戸の町へと舞い降りていきます。

ゆきが地上に降り立って見たものは、悪と欲にまみれた人々の心でした。

「生まれつき悪い人はいない。なのに、何故、悪いことをするの？」

ゆきは、スリの子どもたちの仲間になり、その子どもたちを助けるために、一生懸命心をつくします。

人さらいにだまされたり、お金持ちの養女になったり、さまざまな経験をしながら、みんなを幸せにしようと頑張ります。

江戸の町はもうすぐ春。

冬が終わったら、ゆきは天上の世界へと帰らなくてははいけません。

ゆきは子どもたちにスリをやめさせ、みんなを幸せにすることはできるのでしょうか。

作 : 劇団四季文芸部  
(斎藤 隆介「ゆき」より)  
構成・演出: 浅利 慶太  
台本・作詞: 青井 陽治  
作 曲: いずみ たく  
振 付: 加藤 敬二  
編 曲: 直居 隆雄

ニッセイ名作劇場 これまでの歩み

年次・作品	作	公演回数	招待学校数	招待児童数	主な歩み
第1回(昭和39年) はだかの王様	アンデルセンの童話より 寺山修司 作	80	564	105,780	・S38.10 日生劇場開場 ・S39.5 東京で公演開始
第2回(昭和40年) 王様の耳はロバの耳	ギリシャ神話より 寺山修司 作	50	461	67,638	
第3回(昭和41年) イワンのばか	トルストイの童話より 寺山修司 作	50	454	66,576	
第4回(昭和42年) 王子とこじき	マーク・トウェインの童話より 石坂浩二 作	50	492	66,241	
第5回(昭和43年) みんなのカーリ	飯沢匡 作	50	500	65,947	・S43 「みんなのカーリ」厚生大臣(当時)から児童福祉文化賞受賞
第6回(昭和44年) 空飛ぶ幸吉	飯沢匡 作	50	522	66,278	
第7回(昭和45年) オズの魔法つかい	フランク・パウム 原作 矢代静一 作	50	485	66,202	
第8回(昭和46年) ふたりのロツテ	エーリヒ・ケストナー 原作 矢代静一 脚色	50	515	66,103	・S46 「ふたりのロツテ」厚生大臣(当時)から児童福祉文化賞受賞
第9回(昭和47年) どうぶつ会議	エーリヒ・ケストナー 原作 井上ひさし 作	50	509	66,343	
第10回(昭和48年) 桃次郎の冒険	飯田寛夫 作	58	597	83,648	・S48.9 大阪公演開始
第11回(昭和49年) ジョン万次郎海を渡る	青井陽治 作	64	667	95,139	・S49.9 神戸公演開始
第12回(昭和50年) 雪ん子	青井陽治 作	77	871	116,762	・S50.7 名古屋公演開始 ・S50.10 福岡公演開始(～H19)
第13回(昭和51年) 冒険者たち-ガンバとその仲間-	斎藤惇夫 原作 山川啓介 作詞	84	963	130,116	・S51.9 観劇児童数100万人突破 ・S51 「冒険者たち-ガンバとその仲間-」厚生大臣(当時)から児童福祉文化賞受賞
第14回(昭和52年) ふたりのロツテ	エーリヒ・ケストナー 原作 矢代静一 脚色	84	1,023	130,875	
第15回(昭和53年) モモと時間泥棒	ミヤエル・エンデ 原作「モモ」より 梶賀千鶴子 台本	90	1,162	134,686	
第16回(昭和54年) 人間になりたがった猫	ロイト・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	100	1,218	159,550	・S54.9 1000回公演達成 ・S54.10 札幌公演開始(～H19) ・S54.11 横浜公演開始
第17回(昭和55年) むかしむかしゾウがきた	長崎源之助 原作 梶賀千鶴子 脚色	105	1,293	168,833	
第18回(昭和56年) 嵐の中の子どもたち	劇団四季文芸部 台本	105	1,339	169,970	
第19回(昭和57年) 魔法をすてたマジョリン	梶賀千鶴子・ 劇団四季文芸部 台本	104	1,361	172,378	・S58.5 観劇児童数200万人突破 文部大臣(当時)より感謝状受贈
第20回(昭和58年) アンデルセン物語	フランク・レッサー 作詞・作曲	110	1,414	183,098	・S58.6 仙台公演開始(～H19) ・S58.7 広島公演開始(～H19)
第21回(昭和59年) エルリック・コスモスの239時間	梶賀千鶴子 作	112	1,431	184,814	・S58.9 北九州公演開始(～H19)
第22回(昭和60年) 冒険者たち-ガンバとその仲間-	斎藤惇夫 原作 梶賀千鶴子 脚色	111	1,444	184,581	・S60.9 観劇児童数250万人突破
第23回(昭和61年) 嵐の中の子どもたち	劇団四季文芸部 台本	112	1,533	186,377	
第24回(昭和62年) 夢からさめた夢	赤川次郎 原作 浅利慶太・劇団四季文芸部 台本	112	1,675	185,496	
第25回(昭和63年) 新・はだかの王様	アンデルセンの童話より 寺山修司 作	116	1,744	182,790	・S63.6 観劇児童数300万人突破 ・S63.9 2000回公演達成
第26回(平成元年) 人間になりたがった猫	ロイト・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	117	1,818	190,636	
第27回(平成2年) 王様の秘密	「王様の耳はロバの耳」より 寺山修司 作	118	1,997	194,412	
第28回(平成3年) エルリック・コスモスの239時間	梶賀千鶴子 作	118	2,036	194,875	・H3.6 観劇児童数350万人突破

年次・作品	作	公演回数	招待学校数	招待児童数	主な歩み
第29回(平成4年) ジョン万次郎の夢	浅利慶太・ 劇団四季文芸部 台本	120	2,209	198,976	
第30回(平成5年) 歌は友だち	劇団四季文芸部 台本	123	2,171	192,449	・H5.7 観劇児童数400万人突破 文部大臣(当時)より感謝状受贈
第31回(平成6年) 魔法をすてたマジョリン	梶賀千鶴子・ 劇団四季文芸部 台本	120	2,246	196,881	
第32回(平成7年) 人間になりたがった猫	ロト・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	127	2,167	184,355	・H7.9 京都公演開始(～H19) ・神戸公演については、「桃次郎の冒険」に変更
第33回(平成8年) 桃次郎の冒険 雪ん子	{ 阪田寛夫 原案 } { 劇団四季文芸部 作 } { 青井陽治 台本・作詞 }	123	2,348	198,918	・H8.6 観劇児童数450万人突破 ・「桃次郎の冒険」:東京、横浜公演 ・「雪ん子」:札幌、仙台、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、北九州公演
第34回(平成9年) 雪ん子 冒険者たち-ガンバとその仲間-	{ 劇団四季文芸部 作 } { 青井陽治 台本・作詞 } { 斎藤惇夫 原作 } { 劇団四季文芸部 脚色 }	122	2,368	196,490	・H9.6 3000回公演達成 ・「雪ん子」:東京、横浜、京都公演 ・「冒険者たち-ガンバとその仲間-」:札幌、仙台、名古屋、大阪、神戸、広島、福岡、北九州公演
第35回(平成10年) 九郎衛門	長崎源之助 作	125	2,388	190,647	・H10.7 観劇児童数500万人突破 文部大臣(当時)より感謝状受贈
第36回(平成11年) 人間になりたがった猫	ロト・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	123	2,597	201,194	
第37回(平成12年) ふたりのロッチ	エーリヒ・ケストナー 原作 矢代静一・劇団四季文芸部 台本	123	2,565	196,699	・H12.6 招待学校数延べ5万校突破
第38回(平成13年) はだかの王様	アンデルセンの童話より 寺山修司 作	121	2,641	195,942	・H13.7 観劇児童数550万人突破
第39回(平成14年) 人間になりたがった猫 王子とこじき	{ ロト・アリグザンダー 原作 } { 梶賀千鶴子 台本 } { マーク・トウェインの童話より } { 石坂浩二 作 }	123	2,750	200,549	・「人間になりたがった猫」:東京公演 ・「王子とこじき」:札幌、仙台、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、北九州公演
第40回(平成15年) エルコスの祈り	劇団四季文芸部・ 梶賀千鶴子 台本	126	2,745	204,032	・H15.10 観劇児童数600万人突破 ・H15.10 横浜公演第25回を記念し、横浜市立小学校長会より感謝状受贈
第41回(平成16年) 桃次郎の冒険	阪田寛夫 原案 劇団四季文芸部 台本	124	2,693	200,062	・H16.10 福岡公演第30回を記念し、福岡市より感謝状受贈
第42回(平成17年) 魔法をすてたマジョリン	梶賀千鶴子・ 劇団四季文芸部 台本	126	2,743	204,043	・H17.9 大阪公演観劇児童数100万人、招待学校数延べ1万校を記念し、大阪府より感謝状受贈
第43回(平成18年) ジョン万次郎の夢	浅利慶太・ 劇団四季文芸部 台本	126	2,675	204,087	
第44回(平成19年) ユタと不思議な仲間たち	三浦哲郎 原作 梶賀千鶴子 台本	126	2,681	201,089	
第45回(平成20年) 人間になりたがった猫	ロト・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	100	2,073	159,887	・H20.10 横浜公演第30回を記念し、横浜市立小学校長会より感謝状受贈 ・H20.11 観劇児童数700万人突破
第46回(平成21年) エルコスの祈り	劇団四季文芸部・ 梶賀千鶴子 台本	98	1,877	142,669	
第47回(平成22年) 嵐の中の子どもたち	劇団四季文芸部 台本	105	1,922	154,333	
第47回までの累計		4,658	75,947	7,309,446	

年次・作品	作	公演回数	招待児童数
第48回(平成23年) 雪ん子	劇団四季文芸部 作 青井陽治 台本・作詞	105	約155,000

※公演回数、招待児童数は予定

## 日本生命による子どもたちの無料招待ミュージカルへの協賛概要

### こどものためのミュージカル・プレイ ＜ ニッセイ名作劇場 ＞

◆作 品：『雪ん子』 “こころの劇場” 劇団四季ミュージカル

主 催	公益財団法人ニッセイ文化振興財団	公演回数	105回
協 賛	日本生命保険相互会社	公演都市	5都市
制作・出演	劇団四季	招待児童数	約15万5千人

※公演回数、都市、招待児童数は予定

### ＜ こころの劇場 ＞

- ◆作品1：『雪ん子』  
劇団四季ミュージカル
- ◆作品2：『はだかの王様』  
劇団四季ミュージカル
- ◆作品3：『魔法をすてたマジョリン』  
劇団四季ミュージカル

主 催	劇団四季	公演回数	290回
協 賛	日本生命保険相互会社・ 公益財団法人ニッセイ文化振興財団 他	公演都市	119都市
		招待児童・生徒数	約39万人

※公演回数、都市、招待児童・生徒数は予定

#### “こころの劇場” について

子どもたちの心に、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、生きていく上で大事なことを舞台を通じて語り掛けたい、という思いから、多くの企業や行政の協力の下、劇団四季が平成20年度よりスタートさせた、日本全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクト。

“こころの劇場” 公演に関するお問合せ

四季株式会社（劇団四季） TEL. 045-903-1675

〒225-8585 神奈川県横浜市青葉区あざみ野1-24-7

四季芸術センター